

TOMAS CUP 2019 フジサンケイジュニアゴルフ選手権

競技の条件

- 1、 ゴルフ規則 ; 日本ゴルフ協会が発行する最新のゴルフ規則及び本競技ローカルルールを適用する。
- 2、 競技委員会の裁定 ; 競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 3、 使用球の規格 ; 競技者の使用球は、R&A発行の最新公認球リストに記載されているものでなければならない。本条件の違反の罰は、競技失格とする
- 4、 使用クラブの規格 ; プレーヤーがストロークを行うために使うドライバーは、R&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。
- 5、 ホールとホールの間での練習禁止 ; ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くでは練習ストロークをしてはならない。本条件の違反の罰は次のホールに 2 打の罰、正規のラウンドの最終ホールで違反があった場合はそのホールに対して罰を受ける。ただし、第1ラウンド終了後に行われる、【ジュニアドラコン日本一決定戦】でのストロークは、この条項を適用しない。
- 6、 タイの決定 ; 第1位にタイが生じた場合は競技委員会の指定するホールにおいて即日ホールバイホールのプレーオフを行い優勝者を決定する。
- 7、 プレーのペースについて(ゴルフ規則 5.6b) ; ハーフラウンド2時間15分、1ラウンドに要する時間は最大でも5時間とする。 **特に理由も無くスコアカードの提出が前の組と20分以上遅れた場合は、その組全員に 1打の罰を科す。40分以上遅れた場合は2打の罰を科す。** (トラブルがあつて遅れた場合は、その組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務があります)
- 8、 プレーの中断と再開
 - (1) 通常の間断(日没、コースがプレー不能など)は規則 5.7b,c,dに従って処置すること。
 - (2) 危険を伴う気象状況(落雷など)のため委員会又はクラブ側の決定によりプレーが一時中止になった場合で、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会又はクラブ側よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後委員会又はクラブ側よりプレー再開の指示が出るまではプレーを再開してはならない。本項の違反は競技失格とする。
 - (3) プレーの一時中止と再開の合図について
通常の間断 : カートナビによって通知する
危険を伴う気象状況の為の即時プレー中止 : カートナビによって通知する
プレーの再開 ; カートナビによって通知する
- 9、 移動 ; 正規のラウンド中の移動について、本競技においてはラウンド中いつでもカートに乗ることが出来る。
- 10、 キャディー ; ジュニアオープン部のプレーヤーはラウンド中、キャディーを使用してはならない。ただし球の捜索とプレーの進行及び規則に関する助言を除く。この条件の違反の罰は、キャディーに援助してもらった各ホールに対して一般の罰を受ける。ホール とホールの間でおきたり、ホールとホールの間まで続く場合は次のホールで一般の罰を受ける。(小学生の部のプレーヤーはキャディー使用可能)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は、青杭または白線をもって標示する。
3. コース内の池はすべてレッドペナルティーエリアとし、赤杭または赤線をもってその限界を表示する。杭と線が併用されている場合は線がその限界を表示する。
4. 樹木の支柱及び支線は動かさない障害物とする。
5. 樹木保護のための巻物施設は樹木の一部とする。
6. 排水溝は動かさない障害物とする。また、道路に接する排水溝は道路の一部とみなす。
7. 電磁誘導カートの 2 本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなし、プレー禁止区域とする。球がこの道路上にあるかスタンスがかかる場合及び意図するスイングの区域にかかる場合は、ゴルフ規則24-2b(i)の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反は 2 罰打。
8. パッティンググリーンに近接する動かさない障害物が次の3項すべてに該当する場合、規則 16.1b に基づき救済を受けることができる。
 - ① プレーの線上にある。
 - ② そのパッティンググリーンから2クラブレンジ以内にある。
 - ③ 球から2クラブレンジ以内にある
9. 目的外グリーンはカラーの部分を含む。(規則 13.1f)
10. 本競技に於いてはパー3におけるコールオンを採用する。パー3において後続組がティーインググラウンドに到着して待っているときは競技委員の指示がなくても前の組との間隔を考慮した上でボールをマークして拾い上げ後続組にプレーさせることが出来る。

注 意 事 項

- A) プレースタイルは、乗用カート使用のセルフプレーで1日18ホールスループレーの2日間競技となります。
- B) OUT9番ホール、IN18番ホールでは【ジュニアドラコン日本一決定戦】の予選を兼ねます。ドラコン予選のそれぞれの上位5名が決勝大会に進むことが出来ます。主催者の判断により出場資格の人数が変わる事もあります。(※ジュニアオープンの部選手対象)
- C) 2日目競技終了後、クラブハウスで表彰式を行います。選手権の優勝者及び入賞者また【ジュニアドラコン日本一決定戦】の優勝者は必ず表彰式に出席してください。
- D) 競技の条件、ローカルルールに追加変更のある時は、スタートに掲示して告知します。
- E) スタート時刻10分前には、ティーイングエリア周辺に待機してください。
- F) 携帯電話はクラブハウス内及び緊急時以外はコース内での使用を禁止します。他の選手のプレーの妨害など重大な違反があった場合は重大なエチケット違反として競技失格とするので特に注意してください。
- G) 大会出場中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は主催者に属します。

競技委員長 石塚 巳知男